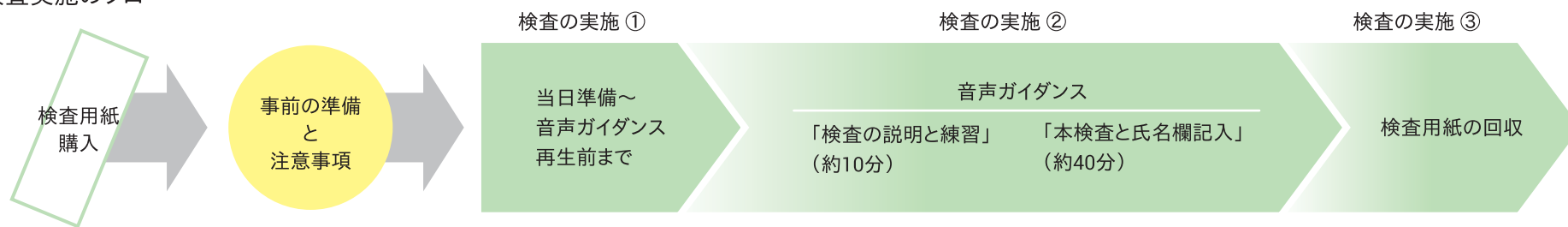


「検査実施の手引き」

はじめに

内田クレペリン検査は、心理検査です。ルール通りに正しく検査を行うことで、初めて正確な判定結果を得ることができます。受検者の不利益とならないよう、実施者は必ず当「検査実施の手引」を確認の上、ガイドラインを遵守し、検査を実施してください。

■ 検査実施のフロー



- 検査を実施する環境： 明るく、騒音が少ない部屋。凸凹がなく、検査用紙を広げられる机（1人あたり横幅70cm以上）。
- 実施者： 正しく検査を行うために、事前に次の資料を必ず確認してください。本手引きに加え、「事前の準備（動画）」を参照。

事前の準備
と
注意事項

- 用意するもの：



検査用紙

用紙は受検者人数よりも何枚か多めに準備する。(2枚使用する受検者がいるため)



筆記用具

鉛筆（HBあるいはB）を準備。受検者一人につき2～3本用意する。ボールペン、シャープペンは原則不可。消しゴムは使用しない。



音声ガイダンス

日精研ホームページで登録手続きをしてダウンロード。

音声ガイダンスの再生機器

1. 実施前に必ず使用する機器で再生確認をする。
2. 再生機器のインターネット接続を解除する。(スマートフォンやタブレットは機内モードに設定)
3. 再生機器は、音声ガイダンスの再生のみの単独使用とする。(再生以外のソフトやアプリを立ち上げない)



ストップウォッチあるいは秒針のある腕時計

60秒計（1周60秒）のストップウォッチ、または秒針のある腕時計。

- 検査時間：約1時間。音声ガイダンスは、「検査の説明と練習（約10分）」と「本検査と氏名欄記入（約40分）」の2部構成になっています。
- 受検条件：早朝、深夜、激しい運動の直後などの実施は避けること。

検査の実施 ①

当日の準備～音声ガイダンス再生前まで

実施者は以下の手順で準備してください（以下、注意事項）。

- 受検者のコンディションを整えるため、受検者はトイレなどを済ませて説明開始の5分前には着席させる。
- 実施者は受検者に次のアナウンスする。 携帯電話、スマートフォンの電源を切ること。 鉛筆以外、机の上の余分なものはしまうこと。
- 検査用紙を裏にして配布する全員が正しく着席し、落ち着いたところで、音声ガイダンスをスタートする

検査の実施 ②～③

音声ガイダンスに従って検査を進めてください（以下、注意事項）。

- 音声ガイダンスを再生してからの遅刻者は、あらためて受検させること。
- 音声ガイダンスの説明部分や練習を省略しないこと。本検査中は、音声ガイダンスを停止したり、中断しないこと。
- 本検査中に事故があった場合、状況をメモすること（受検者の氏名や、何分目にどういう事故があったのか等）。
- 再生を止めるように指示があったら、すぐに音声ガイダンスを停止し、ただちに検査用紙を回収する。

※音声トラブルの対応として、本検査中に実施者はストップウォッチにて時間測定を推奨します。音声トラブルの際、実施者は以下を口頭で伝えてください。

（サキ・アトともに1分おきに「はい、次」を15回言う（アトのみ16回目は10秒計算させる）、終了は「はい、やめ」を言い、鉛筆を置かせる）

注意事項

以下のように検査が正しく実施されない場合は、判定不能、または仮判定とさせていただきますので、予めご了承ください。

1. レンシュウ欄の実施がない
2. 鉛筆、シャープペンシル以外の筆記具の使用
3. 検査の中断、時間超過（不足）

検査が途中で中断したり、時間超過（不足）があると、判定不能、仮判定とさせていただきます場合がございます。

音声ガイダンスをご使用の場合は、事前に使用する機器で音声为正しく再生されるかの確認をお願いします。

【お問い合わせ】当検査に関するご質問は、弊社へお願いします。

発行元：株式会社 日本・精神技術研究所

〒102-0074 東京都千代田区九段南 2-3-27 あや九段ビル 3階

TEL 03-3234-2961, <https://www.nsgk.co.jp/>